横浜市立本町小学校 《令和７年度》

令和7年度～9年度 中期学校経営方針

学校教育目標

人や自然に進んでかかわり、自ら学びを高め、心豊かにたくましく生きていく力を育てます。

～自己教育力とコミュニケーション力の育成～

横浜吉田中学校ブロック
本町小学校　みなとみらい本町小学校
南吉田小学校

学校経営 中期取組目標

＜響き合い　輝く未来へ　つながろう＞

○ 子ども一人一人が生き生きと楽しく生活が送れる、安心安全な学校を目指します。
○ 思いや願いの実現に向けて、主体的に考え行動し、発見した問題をよりよく解決する力を育みます。
○「一人一人が分かる、楽しい」授業づくりをめざします。
○ 多様性を尊重し、自分や他者のよさを認める態度を育みます。
○ 同僚性・協働性の高いチーム本町を目指し、全職員で研究・学校運営に努めます。
○ 伝統を継承しつつ新しい学校を創造し、家庭・地域と深くつながる、愛され信頼される学校づくりをめざします。

小中一貫教育の取組

【9年間で育てる子ども像】
持続可能な未来の社会を創る担い手として

・まちを愛し、役立つ意識を高め、関わり・つながりを大切にする子ども　・多様性を尊重し、共生する力をもつ子ども
・自分を律し、人を思いやる優しさをもつ子ども　・学びの基礎・基本を身につけ、心身ともにたくましく生きる子ども
・身につけた知識・技能のもと主体的、協働的にデータを活用して課題解決に向かう子ども

□小中学校の授業研究会に参加し、学習の進め方や自立した学習者としての態度の確認と授業力向上　□児童生徒に関する継続的な情報共有やデータ分析をもとにした指導についての共通理解
□横浜子ども会議の実施等、児童主体の児童生徒交流の場の設定　※学家地連事業の協働
□国際教室、個別支援級、小中連絡会について各校種間の相互理解とその促進
□ブロック内で育成を目指す資質・能力の9年間で育てる学びのつながり　□具体的取組について継続的な協議の実施

学力向上アクションプラン　体育・健康プラン　「豊かな心の育成」推進プラン

校内重点研究　響き合い、自ら学ぶ子の育成
～生活科　総合的な学習の時間～

重点取組

確かな学力

① 学年の中で、教科担当を決め、学習内容や指導方法について共有をし指導の充実を図ると同時に、記録やデータを残し次年度に引き継げるようにします。
② 重点研究テーマを「響き合い、自ら学ぶ子の育成」とし、生活科、総合的な学習の時間を中心に、自己教育力を高めていきます。

豊かな心

① 職員からあいさつの意識を高め、朝の会や授業などを通して、友達や教職員、来校者に進んで気持ちのよいあいさつができるよう取り組みます。
② 全校で取り組む人権のテーマに向けて各学年で目標を立てて取組や振り返りを行い、人権意識を高めます。

健やかな体

① 内容に応じて健康に関連付けて授業を行ったり、学校保健委員会や歯科保健教育を実施したりすることで健康への意識を高めます。
② 定期的に体力アップのために集会を開き、楽しく体を動かす機会を設定します。
③ 栄養職員と連携し、各クラスの実態に合った食育指導を日々行い、年1回、食に関するイベントを開きます。

地域協働

① 学校運営協議会と連携し、地域の教育力を生かしながら学校運営力を高めます。
② 学校・地域コーディネーター及び地域学校協働本部と連携し、下校指導や学習支援などに取り組みます。

いじめへの対応

① 日常的に児童の情報を学年、ブロック、学校全体で行うことで、児童の些細な変化を見逃さない体制づくりを心がけ、未然防止に努めます。
② 月1回定期的にいじめ防止対策委員会を実施し、認知された案件の経過確認を丁寧に行うことで再発防止に努めます。
③ 年2回のいじめアンケートとスタナビ健康観察を活用し、児童の心の些細な変化を見逃さない体制づくりをします。

特別支援教育

① 特別支援教室の環境整備を全教職員で行い、学びや環境のユニバーサルデザイン化を促進します。
② 学習や学校生活に課題のある児童や外国籍で日本の言語や文化に課題のある児童等、児童の状況を全職員で共有し、子どもの思いに寄り添いながら個別最適な学びができるよう、ICT も活用しながら支援します。

人材育成

① 学年組織や校務分掌の中で、様々な役割や立場を経験できるように支援したり、他校の授業を年1回以上参観したりすることで、職員の力量を高めていくよう努めます。
② 効率的な運営や事前の資料配付、声掛け等の工夫をすることで設定した時間内に充実した会議、研修を行うことを目指します。

安全指導　**危機管理と安全指導**…自分の命を自分で守る。自分と他者の心を守る。自分の生活を守る。→防災・防犯

生き方の教育　**自分づくり教育**…キャリアパスポート、はまっ子未来カンパニー、地域連携→生活科、総合的な学習の時間

業務改善　組織運営　働き方改革